

「航空機部品供給システム研究会」 会員募集について

設立趣旨

我が国の航空機産業は、防衛需要中心で推移してきましたが、近年、ボーイング社やエアバス社など世界の民間航空機メーカーの有力なリスク・シェアリング・パートナー(RSP)として、その地位と実力を高め、平成20年3月にはわが国初のジェット旅客機の事業化が決定されるまでになりました。

特に民間機需要は大きな伸びを見せてきており、今後の航空旅客需要予測を踏まえると航空機産業は大きな飛躍が期待されます。

この東海地域は、日本の航空機生産額の50%以上を占める一大生産拠点ですが、航空機市場の拡大の動きに対応し、航空機産業の裾野を拡大することは、今後のこの地域の航空機産業の振興にとって大きな課題です。

そのため、航空機産業の持つ課題やその解決方法について検討するとともに、この地域の中小企業の航空機産業への参入を支援するために、意欲ある中小企業等を結集して航空機部品供給システム研究会(以下研究会という)を設立するものです。

1 研究会の目的

研究会は当面以下の2つの目的を達成することを目指します。

- (1) この地域に航空機産業ネットワークを形成し、この地域の中小企業の航空機産業への参入の促進を図ること。
- (2) 航空機産業の課題を抽出、その解決方法を研究し、航空機産業の効率化に資すること

2 主催・連携機関

- (1) 主催 愛知県、(社)中部航空宇宙技術センター
- (2) 連携機関 中部経済産業局

3 設立日

平成20年10月10日

4 参加企業等の要件

- (1) 既に航空機産業に取り組んでいる中小企業
- (2) 今後航空機産業に取り組む意欲のある中小企業
- (3) 航空機分野の研究に関心のある大学、研究機関の研究者(専門分野は問いません)
- (4) その他航空機産業の振興に関わる者(大企業、自治体関係者等)

なお、参加企業は原則として中部地域に事業所を有する企業とします。

4 参加料：無料

5 研究会の取組

(1) 取組テーマ

研究会の当面の検討テーマは以下のとおりとします。

- 物流・生産システムの効率化(共同化等)
- 新規参入に当たっての課題抽出(認証問題等)とその支援
- 生産加工技術の向上ほか

(2) 研究会の体制

研究会の組織は、本会と専門部会とします。

① 本会(定例研究会)

本会(定例研究会)では、時宜を得たテーマの講演会の開催や航空機産業の見学会などを定期的に(概ね年4回)開催していきます。

ネットワークの形成を主眼とし、原則希望者は参加できるオープン型式とします。

② 専門部会

専門部会は、定例研究会から参加者の問題認識の共有化を図り、具体的・専門的課題について、検討・研究し、具体的専門テーマごとに検討していきます。

比較的小人数(10~20人程度)の固定したメンバーで開催し、検討結果については、本会(定例研究会)で報告するものとします。

本研究会の趣旨を十分にご検討いただいたうえ、趣旨に賛同し、研究会に参加いただける企業等におかれましては、別添申込書にてFAXまたはメールにてお申し込みください。

[問い合わせ・申込先]

愛知県産業労働部新産業課次世代産業育成グループ(佐々木・福田)

電話052-954-6370(直通) FAX 052-954-6977

Mail:ikusei@pref.aichi.lg.jp (お手数ですが※を@にして送信してください。)

URL: <http://www.pref.aichi.jp/0000016133.html>

「航空機部品供給システム研究会」会員申込書(自治体用)

愛知県産業労働部 新産業課
次世代産業育成グループ 行

Tel 052-954-6370 Fax 052-954-6977

メール ikusei※pref.aichi.lg.jp

(お手数ですが※を@にして送信してください。)

平成 年 月 日

メールでのお申込は、以下の内容を記載するとともに、タイトルに「研究会参加申込」とお書き下さい。

自治体名					
担当部署					
〒・所在地					
ふりがな			氏名		
連絡担当者	役職			氏名	
TEL			FAX	Mail	

ご意見等

研究会に対する質問、活動に対する要望があればご記入下さい。研究会運営の参考とさせていただきます。

--

Fax 052-954-6977